

2022 年 12 月 8 日

通貨ニュース

インド:12 月金融政策会合～インフレ抑制は課題も、メンバーの見解に差が生じる～

インド準備銀行(中央銀行、RBI)は 5～7 日、金融政策委員会(MPC)を開催し、政策金利のレポレポートを 6 人の委員会メンバーのうち 5 人の賛成のもとで 5.90%から 6.25%へ引き上げることを決定した(図表 1)。利上げは 5 会合連続での実施となり、利上げ幅は 9 月会合での 50bps から 35bps へ縮小した。また、他 1 名については利上げに反対した。なお、ブルームバーグの事前予想でも 35bps の利上げの予想が有力であった。

声明文及びダス RBI 総裁の会見では前回会合に続いて足許の世界経済に対して複数のリスク要因を指摘。具体的にはウクライナ危機の長期化をはじめ、世界的なインフレの高進、各国中銀による金融引き締めに伴うリスク心理の悪化のほか、ドル高の進行に伴う新興国の資金フローの悪化などを挙げた。こうした中で、先月公表された 7～9 月期実質 GDP 成長率は前年同期比+6.3%と 8 四半期連続でプラスを維持(図表 2)。内訳をみると、個人消費と設備投資の活発化が GDP をけん引した。業種別では鉱工業に代わり建設業やサービス業が成長のドライバーとなった。一方で、今後の見通しについては外部環境に左右される点も多く不確実性を伴うとした上で、22 年度の成長率を前年比+6.8%と従来予想の同+7.0%から引き下げた。

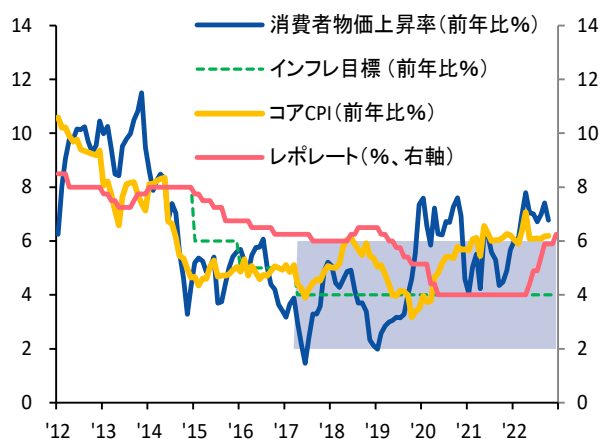
国内のインフレ動向について、直近の 10 月消費者物価指数(CPI)は前年比+6.8%となり、9 月の同+7.4%から減速した。食料品価格や燃料価格などの変動の大きい品目の下落がインフレ減速に寄与したが、コアベースは高水準の推移が続くなど、その他の品目における寄与度に大きな変化は確認されなかった(図表 3)。なお、22 年度のインフレ見通しについては従前からの前年比+6.7%に据え置いた。こちらもウクライナ危機の動向や資源価格の変動など不確実性を伴う内容であるが、RBI のインフレ目標(+2.0～+6.0%)を超える予想となっており、インフレ率が目標レンジに収束するまでには 23 年の春先頃まで時間を要するとしてインフレの長期化を示唆した。

今後の政策対応として、RBI は引き続きインフレの抑制に注力していく方針を示している。インフレの最悪期を脱してはいるものの、コアベースでも前年比+6%付近での推移が継続しており、利上げの他にも市場の流動性供給の管理なども合わせながら、目標レンジへの収束を目指すものと考えられる。また今回、MPC メンバー間でもやや見解が異なる点があったことが確認されており、金融緩和姿勢の撤回が多数を占める結果となった一方、世界景気減速懸念に配慮して慎重な姿勢を見せるメンバーもいた。次回会合では更に意見が割れることも想定されよう。

為替の観点からは FRB も 12 月の FOMC で利上げペースを減速させることが確実な情勢で、米金利の動向も踏まえて INR の下落もようやく一服した状況だ(図表 4)。そうは言っても、FRB が今後どれだけの期間、どこまで利上げを継続

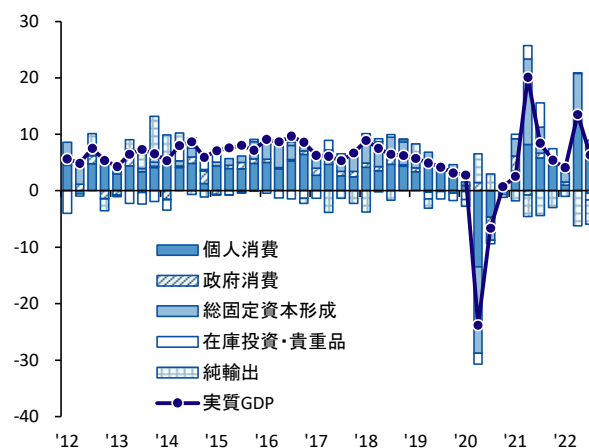
市場営業部
マーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

するかは不透明感が残る。今後は INR 安一辺倒の相場動向にはならないと予想するも、下落要因としてウクライナ危機の動向をはじめとした地政学リスクの顕在化や、商品価格の急騰には警戒したい。

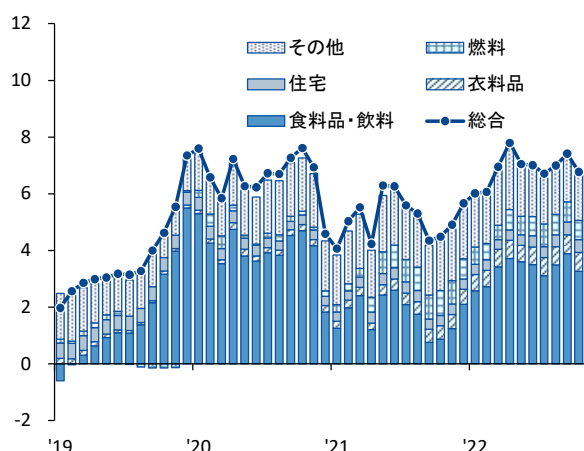
図表 1: 政策金利とインフレ目標


出所: Bloomberg、CEIC、みずほ銀行

注: 青枠はインフレ目標のレンジ

図表 2: 実質 GDP 成長率の推移 (前年比%、%ポイント)


出所: CEIC、みずほ銀行

図表 3: 消費者物価の動向 (前年比%、%ポイント)


出所: CEIC、みずほ銀行

図表 4: INR 相場動向


出所: Bloomberg、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。